

令和2年 12月 2日

千代田区立九段小学校

校 長 清水 明

図画工作科 大高 美和



## 「自分でやります！」

6年生最後の木工作「12歳の力で」は、ほぼ全員が完成しました。この題材は、自分が実際に使う小物入れやタブレット立てなどを、実寸大の工作用紙の模型を作った後、木材に下書きをし、計画的に作りました。しかし中には、組み立てをイメージできていなかったり、デザインに悩んだり、さらに板の形の複雑さによっては、なかなか時間内に部品を切り揃えることができなかつたりと、作品製作に苦勞している児童がいます。そういう児童のほとんどが、何度もスケッチを描きなおして考えている児童や、部品同士を何度も合わせながら組み立て方を考えている児童です。しかし、私が安易に手助けをしようとする、たいていの児童から「形を自分で考えます。」「自分で材料を切ります。」という答えが返ってくるので、驚きとともに大変うれしく思いました。題材名にもあるとおり、自分の力でやろうとする姿勢から、これまで6年間で培ってきた「創造的な態度」を感じます。

自分なりに見通しをもって時間内に制作することも大切なことですが、一人一人の児童が考えたり悩んだりする時間の長さは異なります。また、材料と関わって、試行錯誤する時間も児童によって差があります。児童のやる気を高めながら、一人一人のアイデアが成就するよう、最後まで助言や支援をしていきたいと思ひます。

## 1【9月の図工】

### 3年生「ベトベト・ドロン大変身」

「ベトベト・ドロン」(液体粘土に浸した布)に着色し、変身させました。ジュース絵具、マヨネーズ絵具、カサカサ絵具など、表したい感じに応じて絵具の溶き方を調整して表しました。友達と作品を床に置いて見直しをし、凹凸の中での絵具の濃さや発色を見直して仕上げをしました。



### 4年生「ウッディー・ライフにようこそ」

様々な自然素材の材料を組み合わせ、自分がイメージする「ウッディー・ライフ」を表しました。撮影スタジオ、露天風呂つきの家、ブランコやハンモックがある家など楽しい仕掛けがたくさんある家が完成しています。



## 5年生「手の中の私の星」

小さな手のひら大の球体を自分の星に見立てて、好きなものや大切なもの、必要なものをのせます。

焼き物粘土で、細かく作り込むのは初めての児童たちですが、説明をよく聞き、

丁寧につくり込みました。クラスの中で互いに学び合い工夫が広がる場面も見られました。



## 6年生「12歳のかで」

ぎりぎりまで材料を切りそろえるなど、妥協することなくつくりました。あともう少しで完成する児童もいますが次の題材の準備と並行して活動を進め、1週間遅れで完成することになります。



## 2【11月の題材予定】敷物・教科書・筆記用具・エコバッグは常に持ってきます。

学年	題材	分野	特別な持ち物
3年	光と色のファンタジー	工作	特になし
4年	キラキラから見つけた世界	平面	絵の具セット
5年	はさみのリズムにのって	平面	はさみ（左利きの人）
6年	水のある風景	焼き物	手ぬぐい（薄手の使い古したタオルなど） 手ぬぐいを入れるビニール袋